

## ◇長谷川病院 リハビリテーション部 キャリアラダー

到達目標 Step	Step1 部内業務を覚える (新入職、1～2年目 新人)	Step2 1人立ちして業務を実践する (3年目～)	Step3 部内の係でリーダーシップを発揮する (係責任者)	Step4 役職者としてチームや部門を管理する (副主任・主任)	Step5 部内の業務を運営・管理する (部長、副部長、地域支援責任者、デイクケア責任者)
組織的 役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会人としての自覚を持って行動する。</li> <li>■上司に相談しながら臨床業務、事務処理が実施する。</li> <li>■院内の職員と良好な関係を築く。</li> <li>■部内のラダー(臨床業務、事務処理)をもとに仕事を覚えていく。</li> <li>■係などについて上司と相談しながら役割をこなせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内のラダー(臨床業務、事務処理)をもとに仕事を1人立ちして行える。</li> <li>■部内の方針や規則を理解して、自らが積極的に業務を実践する。</li> <li>■自分にある仕事の優先順位を選択して効率的に遂行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内の業務を新入職や後輩に指導する。</li> <li>■部内の係などでリーダーシップを発揮する。</li> <li>■組織の一員として適切な意見を積極的に発言する。</li> <li>■自らの感情に影響されないで、職員とのコミュニケーションを取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内の目標や方針を理解して、チーム、委員会などの組織を管理する。</li> <li>■周囲の意見を適切に判断して部内に反映する。</li> <li>■自らが管理しているスタッフの能力評価や必要に応じた支援をする。</li> <li>■業務上の安全性や効率性を考えて課題を提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病院の方針や他部署の意見を反映して部内全体を管理する。</li> <li>■スタッフの能力評価を行い、課題を役職者と連携して支援する。</li> <li>■自らが管理しているスタッフの能力評価や必要に応じた支援をする。</li> <li>■業務上の安全性や効率性を考えて課題を提案する。</li> </ul>
具体的 行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■接遇を遵守、挨拶をする。</li> <li>■報告・連絡・相談をする。</li> <li>■部内のラダー(事務処理、臨床業務)に記載されている業務を時々指導があれば可能なレベルとなる。</li> <li>■自身の「できる事・できない事」を明確にして上司と相談しながら解決する。</li> <li>■SV指示の基で学生指導を行う。</li> <li>■上司の指示によって他部署や院外の方々と交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内のラダー(事務処理、臨床業務)に記載されている業務が一人で可能レベルとなる。</li> <li>■自身の「できない事」を自らが改善して行動が取れる。</li> <li>■CVとしてSVと連携しながら学生指導をする。</li> <li>■カンファレンスなどで、他部署にわかりやすい内容で意見を伝える。</li> <li>■上司の指示によって他部署や院外の方々と業務を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内のラダー(事務処理、臨床業務)に記載されている業務を部下に指導が可能なレベルとなる。</li> <li>■部内の係で責任者となる。</li> <li>■SVとして学生指導ができる。</li> <li>■部下や学生の課題や問題に対して適切に簡潔にアドバイスできる。</li> <li>■長期的な見通しを持って、他部署と連携しながら患者を評価、治療、退院支援することができる。</li> <li>■上司に相談しながら他部署や院外の方々と連携して業務を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内や組織の中の課題に対してPDCAサイクル<sup>注)</sup>を用いて施策を実施できる。</li> <li>■部内の課題や問題に対して勉強会、ミーティングなど必要に応じて企画・実施する。</li> <li>■上司に相談しながら他部署や院外の方々と連携して施策を提案して実施する。</li> <li>■部下や学生の課題や問題に対して適切に簡潔にアドバイスできる。</li> <li>■長期的な見通しを持って、他部署と連携しながら患者を評価、治療、退院支援することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病院内や院外の方々との課題に対してPDCAサイクル<sup>注)</sup>を用いて施策を展開できる。</li> <li>■他部署との連携、院外の方々との連携に対して勉強会、ミーティングなどを必要に応じて企画・実践できる。</li> <li>■他部署や院外の施設の発展に貢献する。</li> <li>■部下や学生の課題や問題に対して適切に簡潔にアドバイスできる。</li> <li>■長期的な見通しを持って、他部署と連携しながら患者を評価、治療、退院支援することができる。</li> </ul>
学術的 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■院内の基礎研修を受講する。</li> <li>■部内の新人教育プログラムを受講する。</li> <li>■院外の新人教育プログラム(各技士協会に順じたもの)を受講する。</li> <li>■院外の研修に積極的に参加し、上司と相談して伝達講習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内研修において上司と相談しながら講師役を行う</li> <li>■院外の研修に参加して伝達講習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内研修において上司と相談しながら講師役を行う。</li> <li>■院外の研修に参加して伝達講習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部内研修において講師役を行う</li> <li>■院外の研修に参加して伝達講習を行う。</li> </ul>	

注): Plan(計画)、Do(実行)、Check(確認)、Action(行動)